

特別展「日本・ベルギー修好160周年記念展示 ―美と知の交流の軌跡―」出品目録

令和8年(2026)5月23日(土)ー 令和8年(2026)6月28日(日)
 【休館：毎週月曜日】

アンケートに
ご協力ください▷▷



No.	作品名称	員数	作者・伝来など	時代・年代世紀	所蔵者・寄贈者
■序章 明治天皇からの贈り物ー初里帰りの美術品ー					
1	花瓶	1	宮川香山	明治43年(1910)頃	ベルギー王立美術歴史博物館
2	文箱	1	ー	明治39年ー42年 (1906ー09)頃	ベルギー王立美術歴史博物館
■I章 「修」ー国交のはじまりー					
3	日白修好通商航海条約(仏・蘭文の調印書、税則を含む)	1	ー	慶応2年(1866)	ベルギー王国外務省条約局
4	日白修好通商航海条約(和文の調印書=仮条約)	1	ー	慶応2年(1866)	ベルギー王国外務省条約局
5	税則(和文の調印書の附録文書)	1	ー	慶応2年(1866)	ベルギー王国外務省条約局
6	日白修好通商航海条約(日本側批准書)	1	ー	慶応2年(1866)	ベルギー王国外務省条約局
■II章 「交」ー有栖川宮熾仁親王のベルギー訪問ー					
7	有栖川宮熾仁親王肖像	1	ー	大正時代	学校法人國學院大學
8	レオポルド2世肉筆メモ	1	レオポルド2世(ベルギー国王)	1882年10月15日	ベルギー王宮史料館
9	レオポルド2世とマリー=アンリエット王女の肖像 (『ベルギー王室』より)	1	Les Editions d'Art L. A. B.	1930年代	個人蔵
10	ラーケン城にてレオポルド2世主催の晩餐会の席次表	1	ー	1882年10月	ベルギー王宮史料館
参考	有栖川熾仁親王が訪れた名所の絵葉書	9	ー	19世紀後半ー20世紀前半	個人蔵
11	『有栖川二品親王 欧米巡遊日記』	1	林董 編	明治16年(1883)	ベルギー王国外務省外交史料館
12	『有栖川二品親王 欧米巡遊日記』の仏訳	1	ー	明治16年(1883)	ベルギー王国外務省外交史料館
13	トランク形ボンボニエール(高松宮外遊帰朝記念)	1	高松宮家	昭和6年(1931)6月20日	学校法人國學院大學
14	井上馨外務卿の駐日ベルギー代表あて感謝状	1	井上馨	明治15年(1882)12月27日	ベルギー王国外務省外交史料館
15	井上馨外務卿の駐日ベルギー代表あて感謝状の仏訳	1	井上馨	明治15年(1882)12月27日	ベルギー王国外務省外交史料館
■III章 「知」ー日本とベルギーの修学ー					
III-1) 大日本帝国憲法の制定とベルギー					
16	『王国建国法』	1	ラヘリユル著、井上毅訳注	明治8年(1875)	國學院大學図書館(梧陰文庫)
17	紫溟会結党檄文草稿	1	井上毅	明治15年(1882)頃	國學院大學図書館(梧陰文庫)
18	憲法説明草案	1	ー	明治22年(1889)	國學院大學図書館(梧陰文庫)
III-2) エミール・ラゲとテオフィル・ゴリエの遺産					
19	『佛和會話大辭典』	1	エミール・ラゲ、小野藤太(編) 東京/ブリュッセル(三才社)刊 (立教学院活版部印刷)	明治38年(1905)	ベルギー王立美術歴史博物館
20	『佛和大辭典』(『佛和會話大辭典』第2版)	1	エミール・ラゲ、J.M.マルタン 東京(白水社)刊	昭和19年(1944)	國學院大學図書館
21	『日本語教本』	1	テオフィル・ゴリエ Leipzig: Misch & Thron	1907	ベルギー王立美術歴史博物館
22	日本語講座の案内書	1	ブリュッセル外国語クラブ刊	1907	ベルギー王立美術歴史博物館

■IV章 「美」—海をこえたUkiyo—

IV-1) 海を渡った浮世絵—珠玉のロイヤルコレクション—

23	官女	1	鈴木春信 (1725? - 70)	明和4-5年 (1767-8)	ベルギー王立美術歴史博物館
24	当時三美人	1	喜多川歌麿(? - 1806)	寛政5年 (1793) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館
25	三代目大谷鬼次の江戸兵衛	1	東洲斎写楽 (生没年未詳)	寛政6年 (1794)	ベルギー王立美術歴史博物館
26	吉原の夜	1	歌川国貞 (1786-1864)	文政2年 (1819)	ベルギー王立美術歴史博物館
27	異国の女性と羊	1	魚屋北溪 (1780-1850)	文政6年 (1823)	ベルギー王立美術歴史博物館

IV-2) ベルギーで愛される浮世絵—ジャポニズムとコミックスの源流—

28	調布の玉川 定家	1	鈴木春信 (1725? - 70)	明和4-5年 (1767-68) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館
29	鬼灯を鳴らす母と子	1	喜多川歌麿(? - 1806)	享和元-2年 (1801-1802) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館
30	見立邯鄲の夢	1	喜多川歌麿(? - 1806)	寛政7-8年 (1795-96) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館
31	金魚づくし にはかあめんぼう	1	歌川国芳 (1797-1861)	天保13年 (1842) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館
32	金魚づくし すさのおのみこと	1	歌川国芳 (1797-1861)	天保13年 (1842) 頃	ベルギー王立美術歴史博物館

■V章 「憧」—浮世絵にみる東西文化の交流—

V-1) 明治の暮らしと西洋への憧れ

33	国旗名跡 五大州一覽双六	1	一蕙斎芳幾 (1833-1904)	明治 (1868-1912) 前期	國學院大學図書館
34	東風俗福つくし 洋ふく	1	楊洲周延 (1838-1912)	明治22年 (1889)	國學院大學博物館
35	幻燈写心競 洋行	1	楊洲周延 (1838-1912)	明治23年 (1890)	國學院大學博物館
36	子供遊び画帖	1	小林永濯 (1843-90)	明治21年 (1888)	國學院大學博物館

V-2) 東西文化交流の証

37	江戸絵図	1	鍛形蕙斎 (1764-1824)	18世紀末-19世紀初頭	國學院大學図書館
38	山海目出たい図会 廿六 くせが直したい相州 鯉魚釣	1	歌川国芳 (1797-1861)	嘉永5年 (1852)	國學院大學博物館
39	今様押絵鏡 梅の由兵衛	1	三代歌川豊国 (歌川国貞: 1786-1864)	安政6年 (1859)	國學院大學博物館

■VI章 「創」—東洋からの着想とドートルモン—

40	ロゴグラム (言語の調子が狂い、猛り狂わんことを)	1	クリスチャン・ドートルモン (1922-1979)	1969年	ボードワン国王財団
41	ロゴグラム (言葉とはそれが示す事物ではなく、もちろん事物である (言語学者たちがそのことに気づかないほどに) …)	1	クリスチャン・ドートルモン (1922-1979)	1972年	ボードワン国王財団
42	ロゴグラム (偶然事の、地理上及び地質学上の行程)	1	クリスチャン・ドートルモン (1922-1979)	1976年	ボードワン国王財団